

世代の交流点

瀬戸屋敷『蔵ひろば』をたずねて



金井島にある「瀬戸屋敷」。「みんなの我が家」として、ひな祭りなどの年中行事をはじめ、「あじさい祭」や「秋の玉手箱」といった行事でにぎわいをみせる「瀬戸屋敷」ですが、子どもたちやその保護者といった若い世代を対象とした「蔵ひろば」という催しが開園以来続けられているのをご存知ですか？今回「手作り紙芝居コンクール」で大賞を受賞した町内在住の小澤進さんの紙芝居が上演されると聞いて情報特派員の3人が取材に伺いました。

若い世代、小さな子どもたちに

瀬戸屋敷に足を運んでもらいたい

瀬戸屋敷 館長 川澄 暹さん

「蔵ひろば」を始めたのは、平成17年に瀬戸屋敷がオープンして間もなくのことです。古民家という点、どうしても訪れるかたの年齢層は高くなりがちなので、小さな子どもやその親といった若い世代にも足を運んでもらえる機会をと考えて始めました。親子で楽しめる場として開催日を毎月第2、第4土曜日の午後と決めて開園以来ずっと続けています。



川澄館長

会場に行っていた「蔵ひろば」ですが、ここ数年は、いろいろを囲んだり、ヒロマを使った

りと屋敷内のいろいろな空間で開催しています。演者は地域で活動しているグループ。現在は14グループほどが交替で上演しています。ジャンルも、紙芝居やパネルシアター、絵本の読み聞かせ、素(す)ばなし、エプロンシアターなど多岐にわたります。ゲームやテレビといったバーチャルな世界に触れる機会の多い最近の子どもたちに「肉声」で演じられる文化を伝えたいですね。そして、子どもたちの前で演じるグループのメンバーにとってもよい研修の場となればと思います。

また、この「蔵ひろば」に参加したお子さんには、スタンプカードを用意しています。

子ども心にかえるたいせつさ

折り紙作家 小澤 進さん

当日「蔵ひろば」で吉田島

人が一体となってフィナーレ

在住の折り紙作家小澤進さんによる紙芝居が上演されました。上演されたオリジナル紙芝居「はなしのはなし」は昨年11月に紙芝居文化推進協議

会主催の「第12回手作り紙芝居コンクール」一般の部で国内や海外からの出展220作品の中から大賞を受賞された作品です。午前中に小雪がぱらついた寒い午後、町内外から集まったたくさんの方の前で演目が始まりました。

小沢さんの紙芝居はストーリーや折り紙を張り付けた絵そして舞台である箱もすべて手づくり。折り紙で作ったカエルやダックスフンド、ゾウなどが小沢さんの表現豊かな語りと相まって動きだしそうまるで枠から飛び出すかのようでした。

小澤さんと紙芝居との出会いは小学校2年生。このとき初めて「鶴」を折ったそうです。「初めはあまりうまく折れなかったが練習を重ねるうちに身のまわりにいるたくさん動物や魚などが折れるようになってうれしかった」とのことでした。

そして28歳のとき、折り紙

作家で僧侶でもある今日の折り紙を築き上げた内山興正氏の本との出会いにより一層折り紙に魅力を感じたそうです。

小澤さんは「多くの人間が利益中心になっている昨今、子どもの文化をたいせつにすることが重要だと思います。子どももかつての好奇心旺盛な子どもも時代の帰る、すなわち人間の原点に帰ることが必要だと思います。」と折り紙や紙芝居を続ける意義を語っていました。

取材を終えて

瀬戸屋敷のぬくもりあふれる空間で展開される「蔵ひろば」。ひととき童心に帰って物語の世界に引き込まれてしまいました。小さなお子さんはもちろん、大人にもおすすめです。(石崎)

瀬戸屋敷の「蔵ひろば」を初めて訪れた。子どもたちの日々の生活が垣間見える。子どものころの記憶は断片的ながらその一つ一つは妙に鮮明だったりする。そこには家族や友達、近所のおじさん、おばさんが登場し笑いながら語りかけてくる場面が多い。今日の紙芝居や会場のおいしい、空気の冷たさも子どもたちの記憶に残ってゆくことを願います。(石塚)

瀬戸屋敷での催しに初めて参加させてもらいました。小沢さんの読み聞かせは、子どもへの愛情があふれていて、聞いていてやさしい気持ちになれました。今後、瀬戸屋敷で催しを行っている地域の団体に注目したいと思います！(小野)

1回参加するとリンゴのスタンプをひとつ。スタンプが5つたまると手作りのプレゼントを渡します。先日はこのスタンプが50個たまった兄妹に表彰状を贈りました。

いろいろで開催するときはいろいろボランティアのおばあちゃんがお茶を振る舞うなど、世代を超えた交流も楽しみのひとつです。やってくる子どもは保護者と一緒に参加する赤ちゃんから小学校中学年くらいまでの年代が中心ですが、いつかはここでお話を聞いて育った子どもたちが演者となって戻ってきてくれたらいいですね。もちろん、ずっとこの「蔵ひろば」が続いて、親子二代でお話を聞きにきてくれたらともうれしいです。

参加には申し込みも必要ありません。お客様の多い少ないにかかわらず、毎月第2、第4土曜日に開催していますので、ぜひ気軽に参加してください。

鮮やかな色彩の一枚一枚の絵が次々に展開され、リズムミカルな小沢さんの語りに合わせて子どもばかりでなく大人も歌い、物語の世界へ引き込まれていきます。

蔵ひろば スタンプカード